

2. 「平成22年度献血推進計画に盛り込むべき行動計画事項について」

① 「献血出前講座」や体験学習等の実施

都道府県名	実施事例または新たな方策 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする 団体等やその連携・協力を得るための方法。)
北海道	○ライオンズクラブ、看護学校等への講座の実施 ◎小中学校への講座実施を検討	・日赤 ・教育委員会(北海道、札幌市)
岩手県	○高校献血の事前渉外時に出前講座の実施や啓発用ビデオ貸し出しが可能である旨、養護教員等に説明している。 ○血液センターにおいて親と子の血液センター見学会を実施。	厚生労働省・日赤・都道府県・市町村・学校
宮城県	主催：宮城県赤十字血液センター ○「けんけつKID'Sサマースクール」 小学4～6年生及びその保護者を対象に4日間開催。 ○「献血出前講座およびセミナー」 主に大学、専門学校生を対象に9回開催。	
秋田県	○企業の安全衛生週間等の行事に献血講話を組み入れる。 ○社会科学習を積極的に受け入れる。	企業、中学校
山形県	○さくらんぼ献血予備隊育成事業(県) まもなく献血が可能となる中学生(主として3年生)に対し、献血の仕組みや必要性について啓発チラシを作成し、学校側の理解が得られた学校に対し、講義を実施	血液センターと連携 教育委員会に対し協力依頼

青森県	○総合的な学習時間に献血講座を実施する。(センター) ○「出前トーク」事業において献血に関する講演を登録しており、希望者があれば出向いて行って講演を行っている。(県)	各高等学校長、講演希望者
-----	--	--------------

②「団塊の世代」や「定年退職後」の方々に積極的に献血に協力してもらうため工夫

都道府県名	実施事例または新たな方策 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする 団体等やその連携・協力を得るための方法。)
北海道	◎50歳以上を対象とした「糖尿病関連検査」の広報活動 ◎還暦者を対象とした献血キャンペーン実施の検討。	日赤
岩手県	◎シニア世代を対象とした情報誌等への啓発広告を行う。	厚生労働省・日赤・都道府県・市町村
秋田県	○献血されている方が還暦をむかえたとき、お祝いのハガキを 発送するとともに、献血の継続をお願いする。 ○退職後は献血ルームで献血していただけるよう依頼する。 また、最寄り街頭献血がある場合、案内ハガキを発送する。	企業
山形県	○55歳以上の献血者に対し、電話、はがきによる血漿成分献 血への協力依頼(血液センター)	
青森県	◎広報誌を作成し、情報提供する。(センター)	

③ボランティアの育成や地域組織との連携

都道府県名	実施事例または新たな方策 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする 団体等やその連携・協力を得るための方法。)
北海道	◎学生献血ボランティア活動を地域広報誌へ積極的に掲載する ことや学域での献血時に学生活動のダイジェスト版を同世代 へ配布することを検討する。	・厚生労働省 ・マスコミ ・道市町村

	<p>○ライオンズクラブによる献血実施の拡大。</p> <p>◎学生献血ボランティアのドキュメンタリー番組等を作成し、広く献血への関心や同世代に共感の得られる広報を展開。</p>	<p>・日赤 学生ボランティア</p>
岩手県	<p>○ライオンズクラブや高校のJRC部・大学ボランティアサークルを通じてボランティア活動の1つとしての献血の意識付けを図る。</p>	厚生労働省・日赤・都道府県・市町村
宮城県	<p>◎現在、地域組織について把握できていないため、献血協力している地域組織の現状について調査する。</p>	
秋田県	<p>○地域と密接な関係にある赤十字奉仕団、ライオンズクラブと血液センターの関係を深め、研修会等を実施して企業での献血や街頭献血でも勧誘等に努めていただく。</p> <p>○また、単に献血だけではなく、赤十字の組織性を活かし日赤支部によるAED講習会等の講習を実施し、赤十字のボランティア意識を高める。</p> <p>○学生献血ボランティア（当県は秋田県学生献血推進協議会）の集会等で献血講話を行い、ボランティアの重要性や必要性を理解していただき献血啓発に協力してもらう。</p> <p>○高校生ボランティアが参加するふれあい献血キャンペーン（祝祭日に実施している街頭献血）の実施</p>	ライオンズクラブ、学生ボランティア、日赤奉仕団等
山形県	<p>○学生献血協力サークル育成事業（県） 大学等における既存サークルの協力を得て、献血希望者の募集等を行う体制を構築し、学生献血者の増加を図る。</p>	
福島県	<p>○ヤング献血定着促進事業</p>	大学生ボランティアによるキャンペーンの支援、ボランティア団体の育成。
青森県	<p>○青森県学生献血推進連絡会との連携を深める。（センター） （県）</p>	

④献血ルーム及び献血バスの機能面の充実

都道府県名	実施事例または新たな方策 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする 団体等やその連携・協力を得るための方法。)
北海道	○将来の北海道における人口動態の推計から、地方都市における献血可能人口の減少により、特に移動献血車や地方の固定施設における献血協力数が減少するものと思慮される。これらのことから、現在、札幌市内の固定施設の在り方について検討を行っている。 ◎移動献血車の降り口に、転落防止の手摺りが取り付け可能かを検討する。	日赤
岩手県	○献血ルームでは、若年層の円滑な受入れに配慮し、明るくクリーンな環境整備に努める。 ◎献血バスのエアコン・暖房・発動発電機の性能向上、防錆強化	日赤
秋田県	○漫画、ゲーム、リラクゼーション等の充実を図り広報等でPRする。 ○献血を希望する企業へ献血バスが出向くことが可能であることを広報等でPRする。	市町村広報、報道機関
青森県	◎県内全献血ルームの休業日を廃止する。(センター)	

⑤子育て中の方も献血しやすくなる工夫

都道府県名	実施事例または新たな方策としての提案事例 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする 団体等やその連携・協力を得るための方法。)
北海道	◎ボランティアによる幼児預かり環境の整備	北海道・札幌市への打診

岩手県	◎献血ルームにおいて、親子で一緒に訪れやすい環境整備のため、キッズスペースを確保する。	厚生労働省・日赤・都道府県・市町村
秋田県	○ベビーベッド、玩具、ゲームやビデオ等の設備環境を充実させる。 ○子供を見てくれる人を配置する。	

※ 「予定事業の概要」欄：継続事業には○印、新規事業については◎印で表示すること。

※ 「実施事例または新たな方策としての提案事例」欄：実施事例には○印、新たな方策としての提案事例については◎印で表示すること。

※ 内容については、簡潔にとりまとめること。

2. 「平成22年度献血推進計画に盛り込むべき行動計画事項について」

① 「献血出前講座」や体験学習等の実施

都道府県名	実施事例または新たな方策 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする 団体等やその連携・協力を得るための方法。)
茨城県	○献血出前講座の実施 ○高校生を対象とした施設見学会等の実施	該当高校のJRC活動の一環として実施している。
群馬県	◎当県のとなりの埼玉県血液センターで実施しているため、今後は実施にむけて検討。	市町村・血液センター
埼玉県	○小、中、高、大学等への血液に関する出前講座を実施する。 特に高校、大学については出前講座実施後のアンケート実施により、若年者の献血に対する考え方を把握する。	血液センター、市町村
千葉県	○ 中、高校生の献血推進啓発作品（ポスター）の募集 ○ 中学生向け献血啓発用テキストの作成 【血液センター】 ○若年者層及び献血前年齢層への献血啓発として、高校生を対象とした献血セミナー、中学生職場体験（キャリア教育）を積極的に実施・受入を行う。	○ 教育庁、県内各中学、高校 ○ 教育庁、県内各中学校 【血液センター】 ○（献血セミナー） 千葉県教育庁教育振興部→実施高等学校の選定と実施依頼 千葉県青少年赤十字指導者協議会 青少年赤十字採用校での実施勧奨

		(中学生職場体験) 千葉市教育委員会学校教育部→職場体験受入先として、血液センターを紹介
東京都	○若年者層への献血啓発として、小・中・高校生を対象に施設内で体験学習見学会を実施し、受入を行う。	※PTAや学校関係者へ職場体験受入先として血液センターを紹介。
神奈川県	○夏休み期間を利用し、小中学生の親子を対象として、血液センターや献血ルームの見学等を行う親子献血教室を開催する。	ちらし等PR資材を作製して、各市町村教育委員会等の協力により周知する。
新潟県	○高等学校における献血普及講演会の実施 ○小学生から高校生を対象とした献血ルーム見学会の開催（再掲）	県教育委員会

②「団塊の世代」や「定年退職後」の方々に積極的に献血に協力してもらうため工夫

都道府県名	実施事例または新たな方策 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
茨城県	○60歳以上の献血者にハガキでの協力依頼	
群馬県	◎自分で献血定年を決める献血者が多く、60歳～64歳までの献血者に献血年齢等を周知するDMの配信、そのことにより69歳までの献血者確保につなげる。	血液センター
埼玉県	◎団塊の世代や定年退職後の方々へ封書にて献血ルームや街頭会場への献血協力依頼を行う。	血液センター

千葉県	○各種献血キャンペーンを実施するとともに、各種広報媒体に献血関連情報を提供する。 【血液センター】 ○献血協力依頼文章の発送及び自治会等地域住民を対象とした説明会の実施。	【血液センター】 ○60才以上の方への献血場所の情報提供及び各市町村、推進団体の協力を得て献血者の確保を図る。
東京都	○継続的なDMの活用。 ○市区町村と赤十字による情報連携強化。	※血液センターとの連携強化。 ※市区町村の関係各課と連携し、町会・町内地域との密接な情報提供を検討。
新潟県	◎記事体広告を地元紙に掲載	
長野県	【血液センター】 ○定期的なハガキによる固定施設のPRや献血情報（血液不足情報）の提供	市町村レベルでの献血のPR。地域回覧板によるPR。

③ボランティアの育成や地域組織との連携

都道府県名	実施事例または新たな方策 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
茨城県	○献血支援団体や学生ボランティア主催のキャンペーンの実施	各大学の赤十字奉仕団、地元献血連合会やライオンズクラブ協力を得てキャンペーンを実施している。
栃木県	○学生ボランティアサークル「かけはし」やライオンズクラブ等の既存のボランティア団体との連携をはかる。	血液センター・ボランティア団体

群馬県	○ライオンズクラブ・ロータリークラブ等の既存のボランティア団体との連携をはかる。	血液センター・ボランティア団体
埼玉県	○ライオンズクラブ、ロータリークラブ等の既存のボランティア団体との連携をはかる。	血液センター・ボランティア団体
千葉県	○ 中、高校生の献血推進啓発作品（ポスター）の募集 ○ 成人式に作成した献血啓発用リーフレットを配布 【血液センター】 ○大学生及び高校生に献血情報提供し、ボランティア活動を依頼する。	○中、高校生の献血推進啓発作品（ポスター）の募集することにより献血への理解を深め、将来にわたっての献血者の確保やボランティアの育成につながる。 ○県内各大学及びJRC採用校に血液センターを通じ、協力を依頼する。 【血液センター】 ○県内各大学及びJRC採用校に協力を依頼する。
東京都	○日赤支部との連携を更に強化する。	※各ボランティア組織を献血事業に積極的に参加協力できるよう日赤支部と血液センターの連携を密にする。
神奈川県	○若年層の献血推進に大学生ボランティアサークルを活用してボラフェスタを開催する。	県内大学校、大学ボランティアサークル、ボランティアクラブ及び社会貢献団体。
新潟県	◎高等学校ボランティアクラブへの献血PR活動参加の呼びかけ ○献血以外のボランティア活動を行っているボランティア組織に対する献血協力の呼びかけ	
長野県	○献血者が減少する夏季・冬季に郊外型大型店舗前でサマーキャンペーン・クリスマスキャンペーンを実施しているが、この際に学生ボランティアの協力を得ている。	地元社会福祉協議会やライオンズクラブなどの協力団体、学生ボランティアなど

④献血ルーム及び献血バスの機能面の充実

都道府県名	実施事例または新たな方策 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする 団体等やその連携・協力を得るための方法。)
群馬県	<p>◎3ヶ所あるルームのなかで、平成21年2月に前橋ルームをリニューアルオープンしてイメージアップを図る。</p> <p>◎採血バスにおいては、安全重視から待ち時間が長いため、雑誌等を準備して機能面の充実を図る。</p>	血液センター（献血ルーム・献血バス）
埼玉県	○平成20年度既存の献血ルームを大型ショッピングセンター内に移転し、ベッド数の増床により献血者確保の拡充を図った。	血液センター
千葉県	<p>【血液センター】</p> <p>○平成19年度・20年度、献血ルームにおいて献血に新たなサービスを加え、献血イメージの刷新による献血者の固定化を狙った。</p> <p>献血者の健康増進に配慮したリラクゼーション関連サービスや、流行を取り入れたファッション関連サービスを積極的に採用し、献血ルームの更なる周知を図った。</p> <p>平成21年度以降もこの基調を堅持しつつ、献血環境の更なる向上に努める。</p> <p>主なサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アロマハンドトリートメント ・ボディリラクゼーション（上半身のケア） ・ネイルケア・ネイルアート ・天然ポプリ製作 アロマ石鹸製作体験 ・アロマバスオイル製作体験 ・献血キャラクターパン贈呈 	○ネイル関連学校 セラピースクール・ショップ 大手リラクゼーションチェーン

東京都	○献血バス駐車スペース確保不足による環境面の格差	※血液センターやルームとの情報連携強化し設備の充実を検討。
新潟県	○献血バスのステップを緩勾配・両手すりに改善	

⑤子育て中の方も献血しやすくなる工夫

都道府県名	実施事例または新たな方策としての提案事例 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする 団体等やその連携・協力を得るための方法。)
栃木県	○献血を行っている間の託児スペースの確保 (絵本の読み聞かせ等)	血液センター
群馬県	◎スペースのあるルームにおいては託児体制実施にむけて検討。	献血ルーム
千葉県	【血液センター】 ◎大型商業施設でのサビスタイル職員を可能なかぎり配置。	◎献血者の受入以外にサビスタイル要員を専門に配置し、お子様をお預かりし、安心して献血に協力して頂けるよう体制づくりを検討する。
東京都	○ショッピングモール、ホームセンター等での献血実施を検討し、待ち時間の軽減及びイベント実施の検討。	※同伴及びお子様連れの方々に対して、飽きさせないイベントを検討する。
新潟県	○献血ルームに幼児向けの絵本を備え付け	
長野県	・献血会場に隣接した託児所(託児スタッフを含む)の設置(献血している間、子どもを預ける場所が必要)	保育士、ボランティア

※ 「予定事業の概要」欄：継続事業には○印、新規事業については◎印で表示すること。

※ 「実施事例または新たな方策としての提案事例」欄：実施事例には○印、新たな方策としての提案事例については◎印で表示すること。

※ 内容については、簡潔にとりまとめること。

2. 「平成22年度献血推進計画に盛り込むべき行動計画事項について」

① 「献血出前講座」や体験学習等の実施

都道府県名	実施事例または新たな方策 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする 団体等やその連携・協力を得るための方法。)
富山県	専門学校、短大で新入生の献血説明会を実施 大学での薬物乱用防止教室でPR	教育委員会、各高等学校等
福井県	出前講座を実施	
岐阜県	県職員による出前講座を実施	
愛知県	市町村に出向いて夏休み親子血液教室を実施	
京都府	高校に出向き、卒業前の高校を対象に講演を実施	
大阪府	大学生、高校生を対象としたセミナーを実施	
奈良県	大学ボランティア対象の勉強会を実施	
和歌山県	外部講師を招き、高校生対象の講演会を実施	

②「団塊の世代」や「定年退職後」の方々に積極的に献血に協力してもらうため工夫

都道府県名	実施事例または新たな方策 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする 団体等やその連携・協力を得るための方法。)
富山県 石川県 福井県 愛知県 滋賀県 和歌山県	ハガキ等で献血協力依頼を行う。	

③ボランティアの育成や地域組織との連携

都道府県名	実施事例または新たな方策 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする 団体等やその連携・協力を得るための方法。)
富山県 石川県 福井県 静岡県 愛知県 三重県 滋賀県 兵庫県 奈良県 和歌山県	<p>学生ボランティア、学生献血協議会、高校生ボランティア等との連携を強化し、各種イベントを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生献血ボランティア「アボちゃんサポーター」事業の実施（14 高校、98 名委嘱）（静岡県） ・スポーツクラブチームの育成（滋賀県） 	教育委員会、各大学・高等学校、学生献血推進協議会等

④献血ルーム及び献血バスの機能面の充実

都道府県名	実施事例または新たな方策 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする 団体等やその連携・協力を得るための方法。)
富山県	イベントでの献血の待ち時間においてビデオを上映、また、雑誌を提供	
石川県	血液センターの場所がわかりやすい環境づくり	
和歌山県	献血ルームの待合室を快適にするような工夫	

⑤子育て中の方も献血しやすくなる工夫

都道府県名	実施事例または新たな方策としての提案事例 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする 団体等やその連携・協力を得るための方法。)
滋賀県	プレイルームの併設、献血後の休憩場所の提供	
和歌山県	献血バスへ子どもを同乗、献血ルームで子どもが親の近くにいられる環境を工夫	

※ 「予定事業の概要」欄：継続事業には○印、新規事業については◎印で表示すること。

※ 「実施事例または新たな方策としての提案事例」欄：実施事例には○印、新たな方策としての提案事例については◎印で表示すること。

※ 内容については、簡潔にとりまとめること。

2. 「平成22年度献血推進計画に盛り込むべき行動計画事項について」

① 「献血出前講座」や体験学習等の実施

都道府県名	実施事例または新たな方策 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする 団体等やその連携・協力を得るための方法。)
鳥取県	◎県、市の新規採用職員への献血出前講座を実施	○鳥取県赤十字血液センター ○県、市
島根県	○教育委員会への出前講座のPR、協力依頼	(実施主体) 島根県、島根県赤十字血液センター (協力先) 教育委員会
岡山県	◎各高校へ献血出前講座を実施できるように計画中である。	教育委員会、日赤岡山支部
広島県	◎小学生を対象とした「献血出前講座」を実施する。	◎県、教育委員会と共催予定
山口県	・小中学校に出向いての出前講座は、将来の献血者確保のために有効と考えるが、関係職員は極めて多忙であり、事業を拡大すると、実施人員の確保が困難となります。 については、国の委託事業等で「血液センターのOB等を献血推進指導員(仮称)として雇用し、出前講座を担当してもらう等の事業」を検討していただけないか。	国の支援
香川県	○小学生親子血液センター見学教室(再掲) 4年生～6年生を対象に夏休み期間中に実施 ○献血出前講座(再掲) 4年生～6年生を対象に、献血の必要性や命の大切さへの理解を求める。	・県教育委員会に資料説明を行い、了承を得た後、各市町教育委員会へ文書で協力依頼

愛媛県	○出張献血教室等を行っている。	○愛媛県赤十字血液センター
高知県	◎血液センターによる出前講座	教育委員会

②「団塊の世代」や「定年退職後」の方々に積極的に献血に協力してもらうため工夫

都道府県名	実施事例または新たな方策 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする 団体等やその連携・協力を得るための方法。)
島根県	○ダイレクトメールの送付	島根県赤十字血液センター
山口県	・平日に時間の余裕のある方々に協力してもらえよう広報に努める。	
香川県	◎元気な定年退職者が集う場所を模索し、献血を依頼又は推進ボランティアとしての活動依頼	
高知県	献血メールクラブ活用による継続的な協力依頼	

③ボランティアの育成や地域組織との連携

都道府県名	実施事例または新たな方策 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする 団体等やその連携・協力を得るための方法。)
鳥取県	○学生ボランティアに対する研修会、学習会の実施 ○年間を通じて、学内献血を実施(4~5回計画)	○大学など
島根県	○学生献血推進サークルとの連携強化(セミナー、勉強会) ○ライオンズクラブ等との連携強化	島根県赤十字血液センター 島根県赤十字血液センター
岡山県	◎・○企画課とタイアップし、新規ボランティア団体を開拓する。街頭献血等において呼びかけ、受付のお手伝い等をしていただく。また、既存のボランティア団体に継続的な協力とより一層の協力をお願いする。	県、市町村

広島県	○若年層対策のため、大学献血推進協議会の活性化	○大学献血推進協議会、血液センターと共催しセミナーの開催。
山口県	・高校生の献血推進ボランティアを育成。 ・大学生の献血推進ボランティアを育成。	・青少年赤十字奉仕団 ・青年赤十字奉仕団
香川県	○高校生や大学生ボランティアによる献血キャンペーン 県や血液センター主催のキャンペーンに参加してもらう。 ◎保健所単位での高校生献血ボランティア 高校生自らがイベントを企画し、献血の推進を図る。 ○ライオンズクラブや地元献血推進団体への協力依頼 献血推進研修会の開催や、ボランティア団体への協力依頼	・県教育委員会の協力のもと、校長会等の場で学校長に理解を求めるとともに、養護やボランティア担当教諭を通じて参加者を募り、高校生に献血に関するイベントを企画、実施してもらう。 ・ライオンズクラブの総会や地元献血推進団体の会合等の場で、献血推進への依頼を行う。
愛媛県	○学生奉仕団、青年奉仕団の結成	○大学、各種専門学校、青年会議所等
高知県	各団体の会合時に、献血についての協力要請	ライオンズクラブ、商工会青年部、青年会議所等

④献血ルーム及び献血バスの機能面の充実

都道府県名	実施事例または新たな方策 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
島根県	○バス付属の天幕装置の活用	島根県赤十字血液センター
岡山県	◎現在ある献血ルームは人通りも少なくなっており、全血献血も協力が望めなくなっている。そのため、人通りの多い駅を中心に新規の献血ルームを設置することを検討している。	県、日赤岡山県支部
香川県	◎献血者が心地よく協力いただくため、採血に関わるスタッフの接遇をより向上させるための研修会を実施	
高知県	移動献血バスについて言えば、地域的な状況から大型化は極力抑えて頂き、自家発電装置・クーラー等の防音対策を充実させる。	車輛整備に携わる企業、部門、日本赤十字社。

⑤子育て中の方も献血しやすくなる工夫

都道府県名	実施事例または新たな方策としての提案事例 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする 団体等やその連携・協力を得るための方法。)
香川県	○大型ショッピングセンターでのイベントでの献血時に、ぬり絵 やプラ板、バルーンアート等で子供が遊べるコーナーを設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングセンターの協力により、子供が遊べるスペースの確保が必要 ・保育士又は看護師の資格をもったボランティアを募集

※ 「予定事業の概要」欄：継続事業には○印、新規事業については◎印で表示すること。

※ 「実施事例または新たな方策としての提案事例」欄：実施事例には○印、新たな方策としての提案事例については◎印で表示すること。

※ 内容については、簡潔にとりまとめること。

2. 「平成22年度献血推進計画に盛り込むべき行動計画事項について」

① 「献血出前講座」や体験学習等の実施

都道府県名	実施事例または新たな方策 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする 団体等やその連携・協力を得るための方法。)
福岡県	○献血出前講座 小・中学生に対する献血バスを利用した出前講座の実施 高校、大学、市町村における出前講座の実施及び拡充 ○体験学習 血液センター見学 移動採血の現場での受付などの体験学習 ○専用の推進パンフレット作成	県教委、市町村、市町村教委 出前講座受け入れを円滑にするため教育委員会からの文書 発出依頼 小学校、中学校校長会に出向いての依頼
佐賀県	○年3～4校で献血教室（HOP STEP JUMPの活用やDVD放映など）を実施	県・血液センター・教育委員会・学校
長崎県	○地域で献血思想の普及に尽力されている方へ、九州血液センターで検査・製造工程を直接見学することで、献血への理解を深め、地域での献血協力を呼びかけていただく	血液センター
熊本県	◎放課後児童クラブにおける啓発活動の実施	県・市町村教育委員会 少子化対策担当部局

大分県	<ul style="list-style-type: none"> ○「親子おもしろ献血教室」（小学校高学年生とその親子20組対象で夏休みに実施） ○中学生の献血ルームにおける体験学習 ○献血セミナー（小・中・高・大学生対象）の開催 	<p>大分県，大分県教育委員会，各市町村教育委員会3者の後援を取り付けたのち，県下小学校に応募用紙を配布し，参加者を募集。</p> <p>日本赤十字社県支部，青少年赤十字加盟校，学生献血推進協議会加盟校</p>
宮崎県	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休み親子献血の実施 	血液センター、宮崎県教育委員会、宮日新聞
沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> ○献血思想を印象付けるため、献血教室を実施する。 	教育委員会・県・血液センター・学校
鹿児島県	<ul style="list-style-type: none"> ○各種学校での献血講座の実施（DVD放映及び講演等） ○学校薬剤師による血液教育事業の実施 	県・市町村・血液センター・教育委員会 学校・県薬剤師会

②「団塊の世代」や「定年退職後」の方々に積極的に献血に協力してもらうため工夫

都道府県名	実施事例または新たな方策 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
福岡県	<ul style="list-style-type: none"> ○市政だよりによる事前PR 献血可能年齢の周知・糖尿病関連検査などを盛り込んだ呼びかけの内容を追加 	市町村
佐賀県	<ul style="list-style-type: none"> ○市町献血で住民への呼びかけを行う（地域献血におけるPR強化） 	県・市町・血液センター
長崎県	<ul style="list-style-type: none"> ○献血が制限される服薬の種類緩和の周知 ～事業所での渉外の際，回覧資料に紹介 	日赤 一般事業所
熊本県	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的広報の展開 ◎親子で献血に協力してもらうことで、家族の健康管理に関心を持ってもらうために「親子献血推進運動」の実施 	県・市町村・血液センター等

大分県	◎輸血用血液の高齢者への使用実態を踏まえた啓発ビデオ（DVD）を作成し、各団体や企業等で上映（提案）	
宮崎県	○県、市町村の広報媒体による広報活動 ◎「町ぐるみ総動員献血者掘り起こし運動」	県・市町村 血液センター
沖縄県	○糖尿病関連検査等について周知し、献血で健康管理に役立てていただけるよう普及啓発を行う。	市町村・血液センター・各団体
鹿児島県	◎企業や特定健診時等に資料等を配布し、献血への協力を求める。 ◎県や市町村の広報媒体による普及啓発	県・市町村・血液センター

③ボランティアの育成や地域組織との連携

都道府県名	実施事例または新たな方策 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする 団体等やその連携・協力を得るための方法。)
福岡県	○ライオンズクラブを対象とした研修会の実施 ○地域組織を対象とした血液センターの施設見学 ○学生献血推進協議会加盟校の促進、研修会の実施	学生献血推進協議会、各教育関係、ライオンズクラブ団体の代表者との意見交換会を行う。
佐賀県	○学生献血推進委員への研修、ライオンズクラブへの研修	県・血液センター・ボランティア団体
長崎県	○「学生献血推進サミット」等、学生ボランティア間の情報交換の場を提供し 研修会を実施 ○イベント開催時、積極的にボランティア団体の協力を得る。	県・市町 日赤 ボランティア団体
熊本県	○学生献血推進協議会の組織育成と研修の充実。	各大学学生会

大分県	<p>○地域商工会との連携 地域献血時前に商工会を訪問し、協力を依頼。関係先にポスターの掲示も依頼。</p> <p>○ライオンズクラブ会員施設見学会 ライオンズクラブ会員の献血研修のための血液センター施設見学</p>	<p>県商工会連合会及び各市町村商工会 ライオンズクラブガバナー事務局及び所属各クラブ</p>
宮崎県	<p>○青少年赤十字高校生連絡協議会において、献血のビデオや血液センターの施設を見てもらい、献血についての理解を深めてもらう。</p>	<p>日本赤十字社宮崎県支部・血液センター・教育委員会</p>
沖縄県	<p>○ボランティア団体へ研修会や施設見学等で血液事業についての理解を深め、献血推進の取組協力依頼を行う。</p>	<p>赤十字奉仕団 ライオンズクラブ 学生献血推進協議会</p>
鹿児島県	<p>○ライオンズクラブ、学生献血推進協議会等ボランティア団体を対象とした献血推進セミナーの中で体験発表等を行い、血液事業について理解を深めてもらう。</p>	<p>県・血液センター・ボランティア団体</p>

④献血ルーム及び献血バスの機能面の充実

都道府県名	実施事例または新たな方策 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
福岡県	<p>○採血バス内にDVDを設置献血のPRやビデオ放映を行う。</p>	
佐賀県	<p>○待合室等のリニューアルによる血液センターに訪れやすい雰囲気作り</p> <p>○献血に使用する備品の軽量化による準備時間等の軽減</p>	<p>血液センター</p>
長崎県	<p>○冬場の野外受け付けの防寒対策として、献血バスの天幕カバーを活用</p>	<p>日赤</p>

熊本県	特になし	
大分県	特になし	
宮崎県	○献血ルームについては平成20年3月に移転し、フロア面積は前献血ルームの2.5倍。ベッド数14台整備。また、待ち時間を快適に過ごせるようインターネット環境も整備。	血液センター
沖縄県	なし	
鹿児島県	○献血ルーム等に献血PR用大型電光(LED)掲示板を設置 ○献血ルーム及び献血バスの環境整備(大学での献血においては、パラソルを献血バス周辺におき、飲み物やお菓子を提供し、参加し易い雰囲気を作っている。)	血液センター

⑤子育て中の方も献血しやすくなる工夫

都道府県名	実施事例または新たな方策としての提案事例 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (事業の取組みに当たって、連携・協力を必要とする 団体等やその連携・協力を得るための方法。)
福岡県	○有資格者保育士のボランティア受入れ 専用のテントなどに託児コーナー設置 ○おもちゃの提供 ○公民館など子育て中の方が利用する施設にチラシ配架 授乳期、出産後に献血可能となる時期について周知	市町村、ボランティアサークル
佐賀県	○アニメDVDや絵本で楽しめるチャイルドコーナーを設けている	血液センター (職員は採血などで忙しく、子どもをずっと見守る環境にない。 保育士の派遣等があれば、いいのではないか。)
長崎県	○母体では、母親が献血中、子供用ビデオを放映し、その間は安心して献血できるようセンター職員が付き添う	日赤

熊本県	特になし	なし
大分県	◎献血ルームや出張採血所における託児所の設置（提案）	
宮崎県	○キッズコーナー等の設置検討	血液センター
沖縄県	現在検討中	なし
鹿児島県	○献血ルーム等へのアニメ・絵本などを備えたキッズコーナーの設置	血液センター

※ 「予定事業の概要」欄：継続事業には○印、新規事業については◎印で表示すること。

※ 「実施事例または新たな方策としての提案事例」欄：実施事例には○印、新たな方策としての提案事例については◎印で表示すること。

※ 内容については、簡潔にとりまとめること。